



「ただごとではない」と近所で声をかけあって避難しました

Case.7 声かけあって
森平許子さん・清さん(男衿)・原口澄子さん(鉢形)

防災無線の「高齢者は早めに避難を」を聞き、ただごとではないと思いました。ご近所にも声をかけあって、一緒に避難所で一夜を過ごしたんです。



Case.8 ペットも家族

自宅が土砂災害警戒区域に指定されているので猫3匹とともに避難所へ。でも「猫の鳴き声が、周りの方に迷惑かも……」と家族で相談して、駐車場の車の中で過ごしました。



『ペットを守るかきくけ』
か 飼い主のマナー き キャリーケース
く 薬・ご飯 け 健康管理 こ 行動・しつけ

原則、各避難所で設置されたペット専用の飼育場所、飼い主が責任を持って飼育します。
(※身体障害者補助犬法で定める盲導犬、介助犬、聴導犬は飼い主と同一空間で受け入れることができます)

ご存じでしたか？

町内26の避難所・避難場所はここ
(ハザードマップには所在地も掲載)

議員が町内を回って撮影
←見てわかる! 動画
町内26の避難所・避難場所

指定避難所・指定緊急避難場所

- ①総合体育館・アタゴ記念館
- ②中央公民館
- ③寄居小学校
- ④西部コミュニティセンター
- ⑤生涯学舎(やまとびあ風布) 土砂災害
計画区域
- ⑥桜沢小学校
- ⑦寄居中学校

- ⑧寄居城北高校
- ⑨折原小学校
- ⑩折原コミュニティセンター
- ⑪鉢形小学校
- ⑫城南中学校
- ⑬鉢形コミュニティセンター
- ⑭鉢形財産区会館

- ⑮総合社会福祉センターかわせみ荘
- ⑯男衿小学校
- ⑰男衿中学校
- ⑱男衿コミュニティセンター
- ⑲用土小学校
- ⑳用土コミュニティセンター
- ㉑末野公園

福祉避難所

- ②保健福祉総合センター(ユウネス)
- ③特別養護老人ホームあきやま苑
- ④介護老人保健施設逍遙の郷
- ⑤介護老人保健施設やまざくら
- ⑥特別養護老人ホーム花ぞの

指定避難所：1次的な滞在可能な施設 指定緊急避難場所：身の安全が確保できる場所 福祉避難所：災害に応じて2次的に開設 (※台風19号の際に開設した避難所はP.2に掲載)

声 Voice

徹底取材 220人

住んでいる場所は安全？ 危険？

リスク

ギカイの視点

「自分の家や住んでいる場所が安全なのか、危険なのか、判断に迷った」という声が多くありました。まずは、全戸配布している『土砂災害・地震・洪水ハザードマップ』を確認し、リスクを知ることが大切です。

Q 自分の住んでいる地域の「ハザードマップ」を見たことがありますか？

ある 75.5%

ない・知らない 24.5%

町HPでも見られます▶



Case.1 やっぱり家が
10月12日に、妻・母と3人で、アタゴ体育館に避難。11時頃に台風が通過したので、自宅に帰ってきました。やっぱり自分の家がいいよね。



Case.3 最初から
ひとり暮らしなので隣の方に声をかけてもらい、早めにアタゴ体育館に避難しました。あとから開設された地元の避難所に最初から行ければよかったです。



Case.2 子どもに相談
40年前に大雨で裏山が崩れたんです。心配になって、今回は近くの娘の家に避難しました。町の放送や情報は知らなかったですね。



Case.4 テレビがあれば
親子で避難。避難所では担当の職員の方が色々と気遣いをしてくれて、おかげで朝までぐっすり眠れましたよ。避難所にテレビがあるといいと思いました。

